



## 仙台フィルハーモニー管弦楽団

# 日立システムズ エンジョイ! クラシック コンサート

TBCラジオで毎月第2土曜日に放送中の「日立システムズ エンジョイ! クラシック」がスタジオを飛び出して、仙台フィルハーモニー管弦楽団のコンサートを開催! 宮城県宮城第一高等学校管弦楽部との共演もあります! 気軽に楽しくクラシック音楽をお楽しみください!

program **ビゼー: 「カルメン」組曲第1番** (共演: 宮城県宮城第一高等学校管弦楽部)  
**チャイコフスキー: バレエ音楽「白鳥の湖」組曲 Op.20a** ほか

2019年

# 11月4日(月・休)

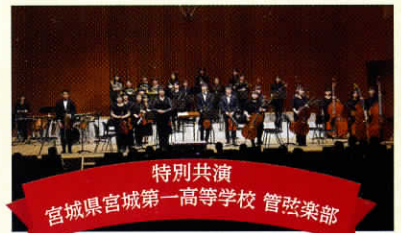
14:00 開場 / 15:00 開演

## 日立システムズホール仙台 コンサートホール

仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 (地下鉄南北線旭ヶ丘駅下車徒歩3分)



©大杉準平



特別共演  
宮城県宮城第一高等学校 管弦楽部

2019年6月7日(金)  
10:00  
チケット発売開始

全席指定

### ■チケット料金 (消費税込)

S席 一般 3,500円 学生 1,500円  
A席 一般 3,000円 学生 1,000円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。  
※学生券取扱い: チケットぴあ、ローソンチケット、  
イープラス、河北チケットセンター、TBC ホームページ  
(一般席と並びの席をお取りいただけます)  
※学生は、演奏会当日に大学生以下の方が対象になります。

### ■プレイガイド

チケットぴあ TEL: 0570-02-9999 (Pコード:151-228)  
ローソンチケット TEL: 0570-084-002 (Lコード:21457)、イープラス  
河北チケットセンター TEL: 022-211-1189 (平日 10:00~14:00)  
藤崎、仙台三越、仙台市市民文化事業団 (日立システムズホール仙台階事務室)  
TBC ホームページ

【お問合せ】TBC事業部 TEL: 022-714-1022 (平日 9:30~17:30) / 河北新報社事業部 TEL: 022-211-1332 (平日 10:00~17:00)

主催: TBC東北放送 河北新報社 共催: 日立システムズホール仙台 (公益財団法人仙台市市民文化事業団)

特別協賛: 日立システムズ 後援: 仙台市

※売上の一部は震災復興支援のために寄付されます。※開演(演奏)中の客席への入退場は一切お断りいたします。  
※やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる場合もございますので、あらかじめご了承ください。※ご来場の際は、地下鉄やバス等の公共交通機関をご利用ください。

本公演の様子は、**TBCラジオ 日立システムズ エンジョイ! クラシック スペシャル** として放送されます。



毎月第2土曜日 19:00 ~ 19:40 放送中!

仙台フィルハーモニー管弦楽団の西本幸弘(ヴァイオリン)、三宅進(チェロ)、西沢澄博(オーボエ)の3人が4ヶ月毎にパーソナリティを務め、様々な切り口からクラシック音楽の楽しみ方をご紹介します!





## 指揮 角田 鋼亮

Kosuke Tsunoda

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。ドラマ『新春スペシャル・のだめカンタービレ』においては千秋真一役の指揮指導を務めた。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、東京都響、東響、東京フィル、名古屋フィル、大阪フィル、京都市響、日本センチュリー響、アンサンブル金沢等と共演している。

2016年、セントラル愛知交響楽団第145回定期演奏会が高く評価され、「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」を受賞。2018年、大阪フィルハーモニー交響楽団定期演奏会に登壇し、若さ溢れるエネルギッシュな指揮ぶりでも好評を博した。

現在、セントラル愛知交響楽団常任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団および仙台フィルハーモニー管弦楽団においても指揮者を務めている。2019-2020シーズンは、NISSAY OPERA 2019『ヘンゼルとグレーテル』（演出：広崎うらん）、日生劇場ファミリーフェスティバル2019『アラジンと魔法のヴァイオリン』（演出：栗國淳）全国ツアーへの出演が決まっており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。

公式ホームページ <http://kosuketsunoda.com>



## 演奏 仙台フィルハーモニー管弦楽団

Sendai Philharmonic Orchestra

仙台フィルは、1973年に市民オーケストラ「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。翌年に初の定期演奏会を開催して本格的に活動を開始した。1983年4月から芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ常任指揮者のもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2018年度に飯守泰次郎が常任指揮者に就任、ドイツ音楽を中心としたレパートリーによりさらに音楽的深化を推し進めている。

2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、仙台フィルは数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届けながら絆をつなぐ活動を行い、2011年度エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞と渡邊暁雄音楽基金特別支援を受賞した。

本拠地、日立システムズホール仙台コンサートホールでの「定期演奏会」は2016年に300回を数え意欲的な取り組みが高く評価されているほか、2001年から開催されている仙台国際音楽コンクールではホストオーケストラとして出演し、2006年秋からは毎年「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれるなど、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。



## ゲスト 宮城県宮城第一高等学校管弦楽部

宮城県宮城第一高等学校管弦楽部は、宮城県内高校でも数少ない管弦楽部のひとつで、今年は、1年生から3年生まで43名で活動しており、3年生は、7月下旬の佐賀県で開催される第43回全国高等学校総合文化祭「2019さが総文」に参加した後に引退する予定で、今回は、1,2年生での参加となる。高校から楽器を始める部員が多いが、一音一音丁寧に音楽を作り上げることをモットーに活動している。

毎年5月に行われる定期演奏会を柱に、宮城県高等学校音楽祭、全国高等学校オーケストラフェスタ、県内3校合同で行われる高校弦楽祭への参加、地域での演奏会や学校行事、同窓会での演奏など精力的に活動している。日立システムズ「希望の響き」シリーズには、「ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル東日本大震災復興祈念チャリティーコンサート」に、2014年から2017年まで4回出演している。

プロの演奏家と地元中高生の共演  
「キャサリン・ジェンキンス リサイタル」

子どもたちに本物の体験を  
「こどもの夢ひろば“ボレロ”  
～つながる・集まる・羽ばたく～」

HITACHI  
Inspire the Next

# 希望の響きをこのホールから



最新の情報はこちらから  
ご覧いただけます



日立システムズは、仙台市が東日本大震災の復興財源とする施設命名権を取得。この「日立システムズホール仙台」を活用した様々なイベントでの活動を「希望の響き」シリーズとして文化面からの復興支援に取り組み、特に復興を担う若い力を応援しています。